

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月16日(月)

事務事業		家屋評価賦課事務			担当課	資産税課	担当係	家屋係	管理番号	19211
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり			根拠法令 個別計画等	地方税法、深谷市税条例、深谷市都市計画税条例			
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は固定資産税、都市計画税を賦課するにあたり、新增築家屋の価格を決定するため、新增築家屋の実地調査及び家屋評価システムを用いて、正確かつ迅速に処理を行う。また、課税客体を正確に把握するため航空写真撮影及び評価済みの家屋に番号を付し管理を行うものです。								
目的 ※何のために		固定資産税、都市計画税を賦課するため								
対象 ※誰・何を対象に		賦課期日（毎年1月1日）現在において、市内に所在する家屋及びその家屋を所有する人								
手段 ※どのように		賦課期日現在における深谷市内の家屋の状況の把握及び、建築確認申請等による新增築家屋の実地調査を行い、家屋の評価額を家屋評価システムを用いて計算を行う。								
成果 ※何を求めるか		固定資産税都市計画税の賦課及び家屋の適性な評価を行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他（                      ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	2	総務費	2	徴税費	1	税務総務費	家屋評価賦課事務費	17,142,556
本事業の 主な業務		・家屋調査							・	
		・家屋評価図形計算システムの使用							・	
		・家屋評価図形計算システムの保守点検委託							・	
		・航空写真の撮影委託							・	
		・税務地図情報システム上の家屋データ更新委託							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

※令和6年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）	18,048,000	17,937,000	17,596,000	18,417,000			
	決算額	16,354,845	17,352,845	17,142,556	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	40,112	41,063	0	44,000		
		一般財源	16,314,733	17,311,782	17,142,556	18,373,000		
人件費	従事職員数（人）	6.20	6.20	6.25	5.70			
	人件費相当試算※	48,791,254	49,663,023	51,389,007	48,608,574			
総事業費試算		65,146,099	67,015,868	68,531,563	67,025,574			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	固定資産税納税義務者数（家屋）	目標値	人							
		実績値		48,497.00	48,809.00	49,056.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		納税義務者については、所有状況に変動があるため、目標値の設定ができない/最終調定における納税義務者数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	都市計画税納税義務者数（家屋）	目標値	人							
		実績値		25,859.00	26,066.00	26,289.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		納税義務者については、所有状況に変動があるため、目標値の設定ができない / 最終調定における納税義務者数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	当該年度新增築家屋調査率	目標値	%	100.00	100.00	100.00				
		実績値		99.10	99.30	99.40				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		調査率100%を目標値としている / 調査棟数／新增築棟数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	賦課に関する苦情件数（家屋）	目標値	件	0.00	0.00	0.00				
		実績値		0.00	0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		苦情件数0件を目標値としている / 市長への手紙件数（未解決のみ）							
	実績値の算出式									
活動指標 4	固定資産税調定額（家屋）	目標値	百万円							
		実績値		4,029.00	4,173.00	4,156.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		調定額については、所有状況に変動があるため、目標値の設定ができない / 最終調定における調定額（千円）							
	実績値の算出式									
活動指標 5	都市計画税調定額（家屋）	目標値	百万円							
		実績値		253.00	262.00	262.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		調定額については、所有状況に変動があるため、目標値の設定ができない / 最終調定における調定額（千円）							
	実績値の算出式									

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

#### （1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	新增築家屋や減失家屋を表示（減失）登記、建築確認申請、建設リサイクル法の届け出等を基に把握し、その後、家屋の現地調査を行った。 新築家屋の調査については、調査日時を指定し地区ごとに集中的に調査を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新增築家屋調査率については、目標値に達していないものの高い水準を維持している。年度中に100%に至らなかった理由は、調査の日程を家屋所有者の都合に合わせているためである。 調査率が100%となる様、引き続き未調査家屋所有者と調整を図っていく。
			評価者 家屋係長 原弘和

#### （2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	新增築家屋の調査については、3班編成、各班の調査件数を原則午前午後各3件、対象件数を考慮した調査期間を設定し、計画的に調査を行った。
			評価者 家屋係長 原弘和